

米国特許出願の審査未着手件数の減少をもたらす結果

2012年05月14日

特許業務法人

HARAKENZO WORLD PATENT & TRADEMARK

(旧称：特許業務法人原謙三国際特許事務所)

David Kappos 氏は、USPTO の長官に就任して以来、特許出願の審査未着手件数（滞貨）を削減することに注力し成果を挙げてきました。下表によれば*1、過去 1 年間の審査未着手件数は、10% も減少しています。

通常の特許出願の審査未着手件数と、RCE の審査未着手件数と、BPAI の審理未着手件数との間には、次の関係があるようです。すなわち、これら 3 者間には、通常の特許出願の審査未着手件数が減少するにつれて、RCE の審査未着手件数と、BPAI の審理未着手件数とが増加し続けているという関係にあります。

Date	Unexamined Cases	RCE Backlog	BPAI Backlog
Dec 10	721,831	52,048	19,849
Jan 11	718,857	54,766	20,312
Feb 11	715,461	56,757	20,704
Mar 11	708,912	57,435	21,095
Apr 11	706,778	60,370	21,872
May 11	703,175	62,854	22,359
Jun 11	695,086	62,352	22,929
Jul 11	689,226	65,334	23,416
Aug 11	683,991	67,942	23,808
Sep 11	669,625	63,487	23,963
Oct 11	671,409	70,435	24,689
Nov 11	668,466	73,851	25,147
Dec 11	662,457	73,434	25,334
Jan 12	657,378	78,872	25,498
Feb 12	653,218	83,632	25,943
Mar 12	644,775	84,998	26,375

なお、上記表において、審査未着手件数は、“a first action on the merits (FAOM)” が発行されていない出願件数を意味しており、RCE は含まれていません。上記表において、RCE の審査未着手件数が増加しているのは、USPTO が、通常の特許出願の審査未着手件数の削減に焦点を当てていることから直接引き起こされた結果です。

2012 年 3 月には、BPAI は 911 件(最近では最多の件数)に対して行政処分をしており、その結果、BPAI の審理未着手件数の増加がスローダウンしていますが、1,343 件の審判が新たにドーケットされており、結果として審理未着手件数は増加し続けています。

*1 LINK: <http://www.patentlyo.com/patent/2012/05/the-uspto-patent-backlogs-falling-and-rising.html>

【全2頁】

本件記事に関し、後続するさらなる詳細情報の知得をご希望されるお客様は、
下記の担当者までご連絡くださいますよう、お願い申し上げます。
ご不明点・ご質問等がございましたら、遠慮なくお問い合わせ下さい。

【 連絡先 】 特許業務法人 HARAKENZO WORLD PATENT & TRADEMARK

外国専門部長 : 新井 孝政 (大阪本部在籍)

外国専門部長代理 : 岡部 泰隆 (大阪本部在籍)

TEL : 06 - 6351 - 4384 (代表)

E-Mail : iplaw-osk@harakenzo.com

【無断複製・転載禁止】

当サイトの掲載物は著作権法で保護されています。無断複製や転載は固くお断りいたします。
特許業務法人 HARAKENZO WORLD PATENT & TRADEMARK, All rights reserved.